

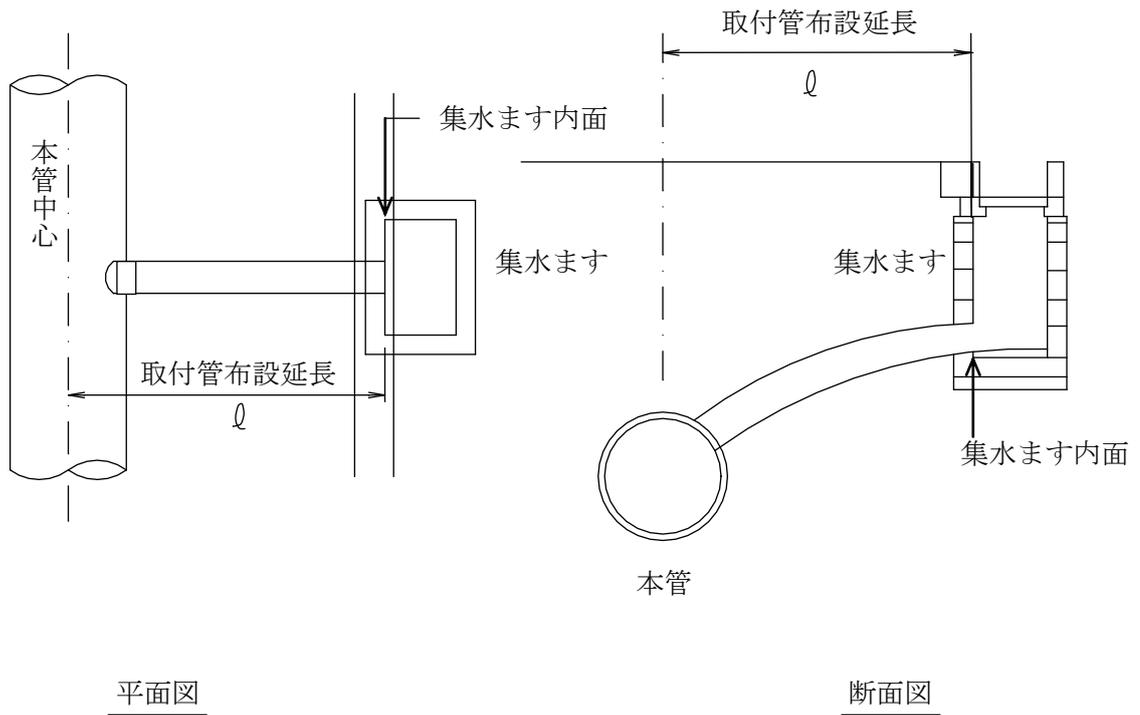
(7) 取付管（塩ビ管）布設工

取付管布設工の延長は、次のように取扱うものとする。

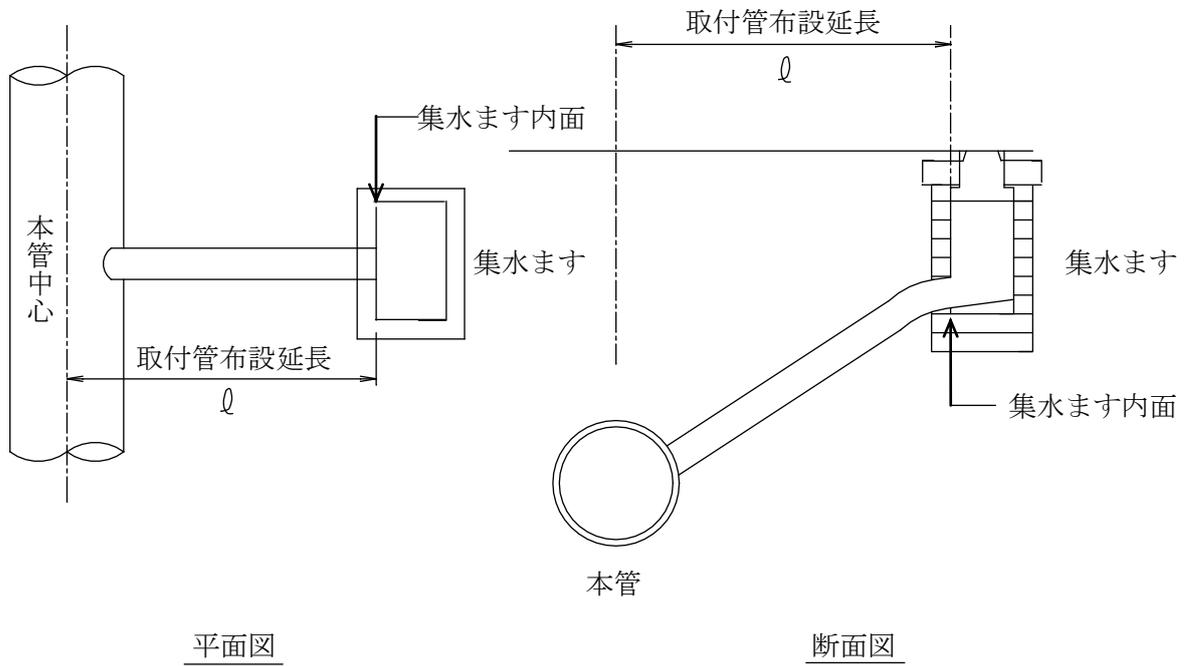
ア. 本管取付で、本管に対して直角に接続する場合

取付管布設延長は、本管中心線より、集水ますの内面までの「水平距離」とする。

① 集水ます



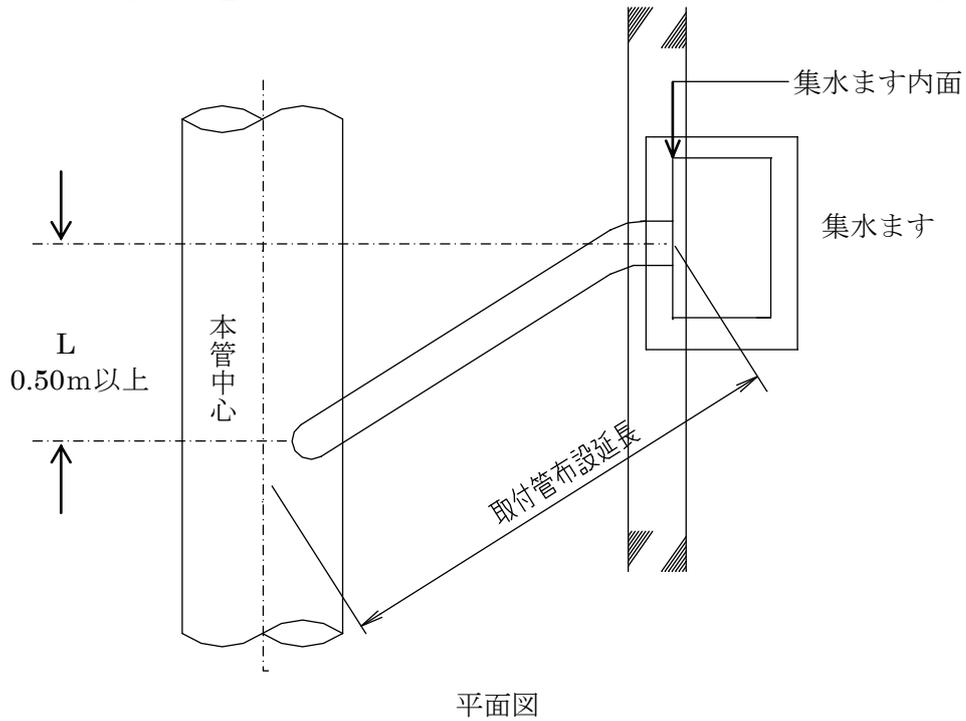
②集水ますⅡ型、集水ますⅢ型



イ. 本管取付で、本管に対して斜めに接続する場合

取付管布設延長は、取付位置（本管中心線）より、集水ますの内面までの距離とする。

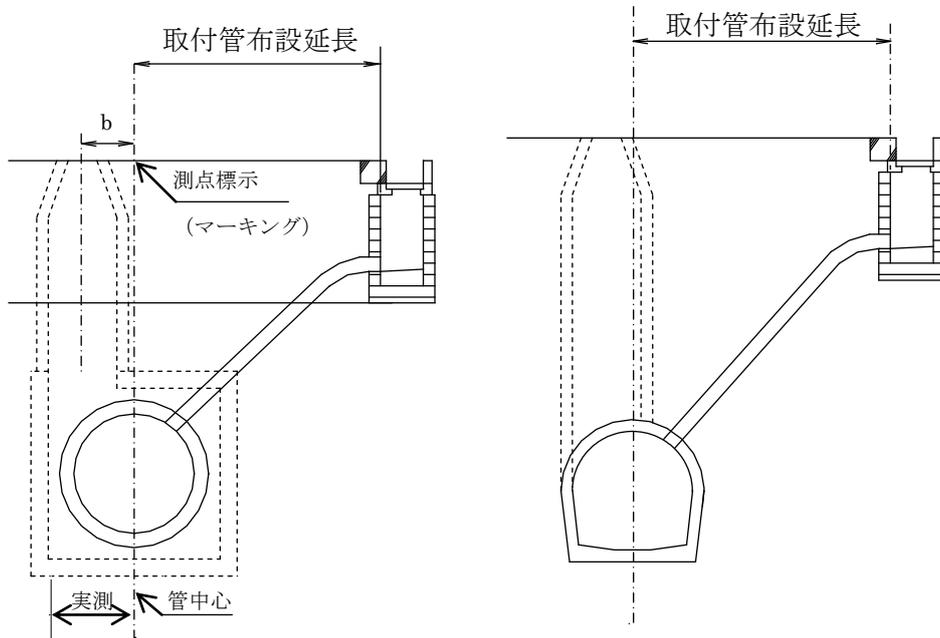
この取扱いに適用する水平距離（L）は、0.50m以上を原則とする。



ロ. 取付管を幹線へ接続する場合

① 円形管、馬蹄形暗渠の場合

取付管布設工の延長は本管中心より集水ます内面までの水平距離とする。

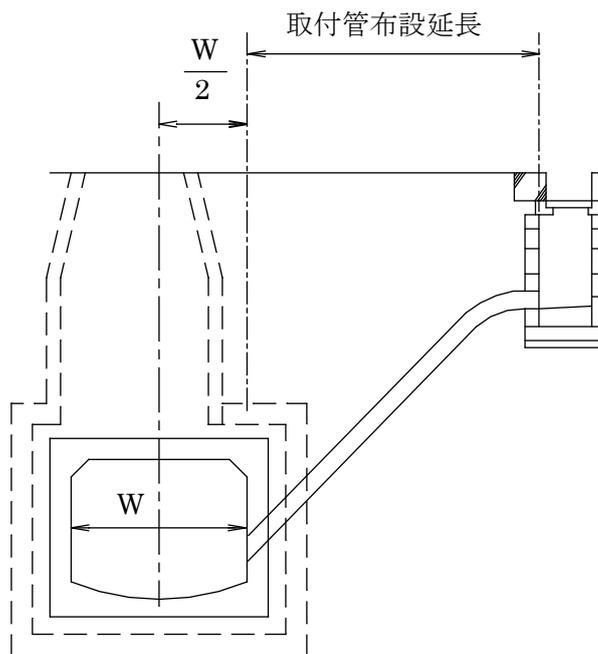


円形管（幹線）の場合

馬蹄形暗渠の場合

② 取付管を矩形暗渠（ボックスカルバート）へ接続する場合

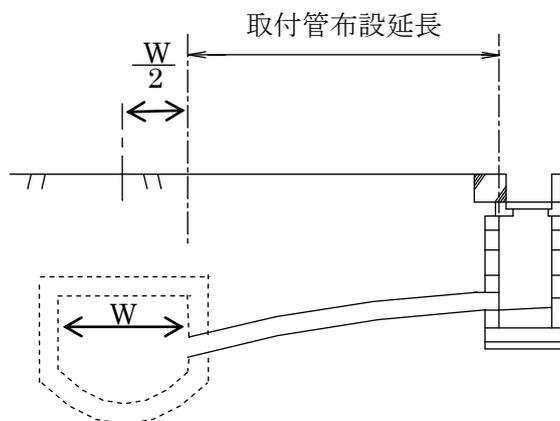
取付管布設延長は、原則として側壁へ接続するため、矩形暗渠の内径の $1/2$ を控除した値とする。



矩形暗渠の場合

③ 取付管を背割下水へ接続する場合

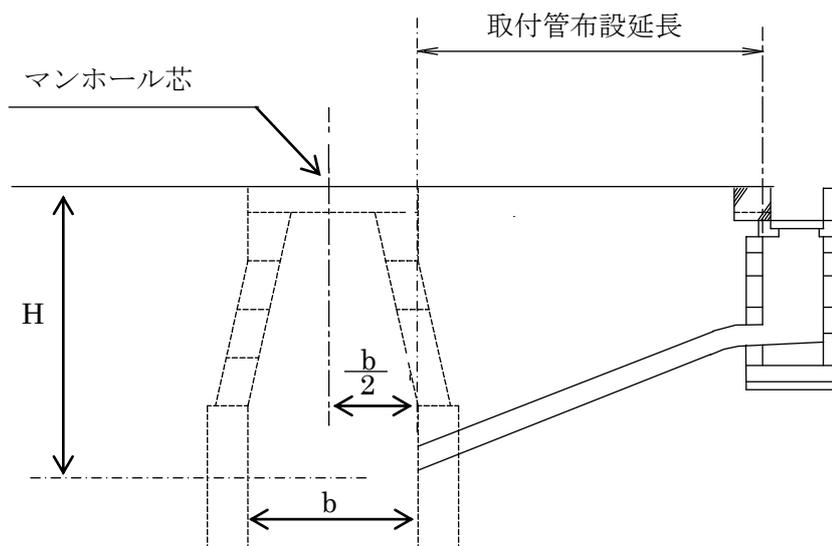
取付管布設延長は、原則として側壁へ接続するため、背割下水の内径の 1/2 を控除した値とする。



背割下水の場合

(ハ) 取付管をマンホールへ接続する場合

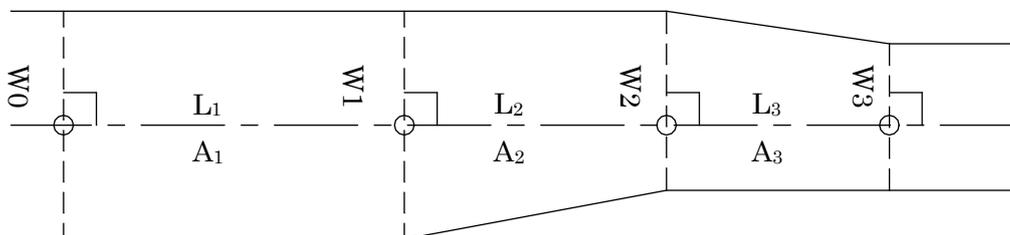
取付管布設延長は、直壁部の内空の 1/2 を控除する。



既設第3種マンホールの場合 (例)

3 舗装復旧面積等の算定

- (1) 舗装復旧面積の算定にあたっては、次の事項に留意する。
舗装復旧面積は、標準として「道路掘削跡復旧工事施行要領」によるが、道路管理者（建設局及び国土交通省等）と現場立会を行ったうえ決定する。
なお、影響部分が増加する場合は、その理由を明らかにしておくこと。
- (2) 舗装復旧面積の算定にかかる延長等は、cm 単位まで測定することとし、測定値は 5cm 区切りでそれ未満の数値は切り捨てとする。（最終値が 0cm～4cm の場合は 0cm、5cm～9cm の場合は 5cm として処理する。）
ただし、面積控除にかかわる延長の測定値は切上げとする。
- (3) 舗装面積は、次の事項に基づき算定するものとする。
ア.舗装構造が異なるところは、工種ごとに測定し、面積を求める。
イ.施工幅員が一定している路線は、施工延長を測定し、これに舗装幅員を乗じて求める。
（ただし、施工延長が長い場合には測点（例えば 20m ピッチ）を設け測点番号を表示しながら施工延長を測定し、これに舗装幅員を乗じて求める。）
ウ.施工幅員が一定していない路線や街角部は、最小個数になる三角形又は、欠円のポイントを測定し、次の算出方法によるものとする。
① 幅員に変化がある場合は、変化点ごとに両端の平均幅員による。ただし、測定幅員は延長に対して直角でなければならない。



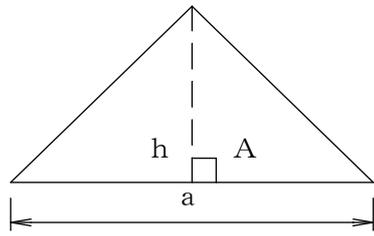
$$\text{面積 } A1 = (W0 + W1) \times 1/2 \times L1$$

$$\text{面積 } A2 = (W1 + W2) \times 1/2 \times L2$$

$$\text{面積 } A3 = (W2 + W3) \times 1/2 \times L3$$

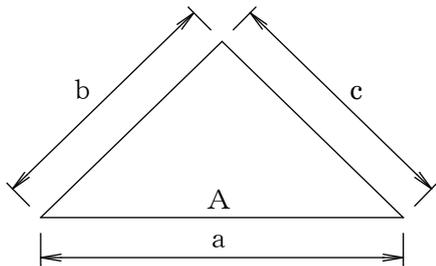
・
・
・

② 街角部、小面積又は道路形状の変化の大きい場合は三斜法により算出する。また、これによりがたい場合はヘロンの公式を使用してもよい。



・三斜法

$$\text{面積 } A = a \times h \times 1/2$$

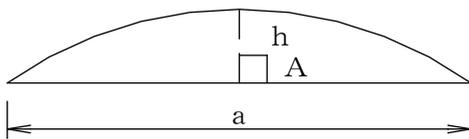


・ヘロンの公式

$$S = (a + b + c) \cdot 1/2$$

$$\text{面積 } A = \sqrt{S(s-a)(s-b)(s-c)}$$

③ 曲線が伴う場合は、欠円式により算出する。



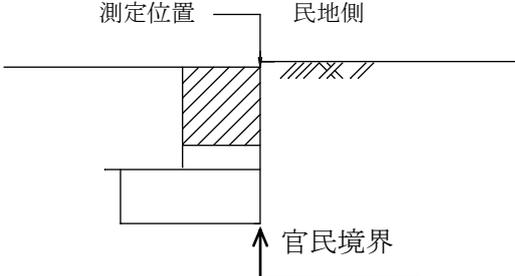
$$\text{面積 } A = a \times h \times 2/3$$

(4) その他の道路構造物の測定は、次によるものとする。

ア. 延長は、cm 単位まで測定することとし、測定値は 5cm 区切りでそれ未満の数値は切り捨てとする。

(最終値が 0cm～4cm の場合は 0cm、5cm～9cm の場合は 5cm として処理する。)

表 3 - 1 項目別の測定方法及び控除数量

項目	測定の方法	控除するもの
道路境界石 (ブロック、場所打)	<ul style="list-style-type: none"> 官民境界側の延長とする 	
歩道縁石	<ul style="list-style-type: none"> 延長は車道側の延長とする。 	
街渠	<ul style="list-style-type: none"> 延長は歩道縁石に沿うものとする。 	雨水枿 0.74m/個所
自転車道境界石	<ul style="list-style-type: none"> 歩道側の延長とする。 	
防護柵	<ul style="list-style-type: none"> 安全柵、遮光柵等は支柱中心間距離とする。 ガードレール等袖付けのものは外側間距離とする。 	

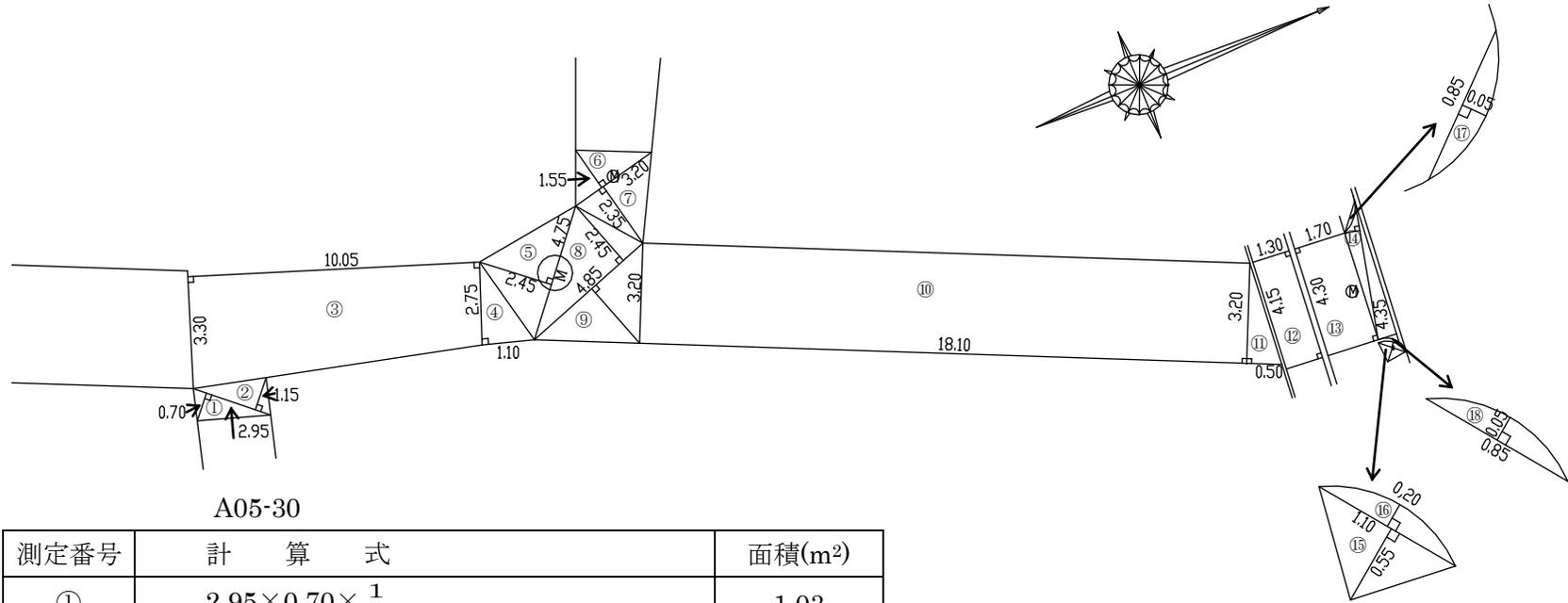
(5) 現場測量の結果を、舗装復旧図として作成し、面積算定を行うが、その場合にマンホール等については面積控除を行う。

ただし、路面上の面積が0.1m²未満の物件は面積控除しない。

表 3 - 2 控除表 (参考)

項 目	下水道用蓋
舗 装	下水道用マンホール蓋 1. 組立マンホール 0.32m ² /箇所 2. 中間ます 0.16m ² /箇所

二次復旧工 舗装面積図 (例)



A05-30

測定番号	計 算 式	面積(m ²)
①	$2.95 \times 0.70 \times \frac{1}{2}$	1.03
②	$2.95 \times 1.15 \times \frac{1}{2}$	1.69
③	$(2.75 + 3.30) \times \frac{1}{2} \times 10.05$	30.40
④	$2.75 \times 1.10 \times \frac{1}{2}$	1.51
⑩	3.20×18.10	57.92
⑬	1.70×4.30	7.31
⑰	$0.20 \times 1.10 \times \frac{2}{3}$	0.14
計		

4 数量の表示単位及び数値

出来高数量の表示単位及び数値の取り方については、次の規定を基本とし、適用できない場合はこの限りでない。

- (1) 測定寸法及び図面の表示寸法は、cm までとし、以下切り捨てとする。ただし、構造物等 mm 表示が必要なもの及び高低測量は、その単位までとする。
- (2) 数量を求めるときは、寸法等により計算を行い、出来高明細書等の指定数値以下 1 位止め 2 位を四捨五入とする。
- (3) 出来高明細書等への計上数量は、同一工種を集計し、指定数値未満は切り捨てる。
- (4) 出来高明細書等の表示単位及び数値は次表によることを原則とする。

表 3-3 数量の表示単位及び数値一覧表

単位	数 位	摘 要	単位	数 位	摘 要
m	小数 2 位止	小数 3 位以下切捨	空 m ³	小数 1 位止	小数 2 位以下切捨
m ²	小数 1 位止	小数 2 位以下切捨	掛 m ²	小数 1 位止	小数 2 位以下切捨
m ³	整 数		組	整 数	
箇所	整 数	(推進、シールド工事の各種設備工で箇所表示された工種) 小数 2 位以下切捨	本	整 数	
	小数 1 位止				
式	1		回	整 数	
t	小数 2 位止	小数 3 位以下切捨	資料	整 数	

- (5) 各工種別の表示単位及び数値の取り方は別表-1 によるものとする。

別表-1

出来高数量の表示（単位及び数位のとり方）

分類	工事区分 ・ 工 種	種 別 ・ 細 別	適 用	出来高明細書等への表示			図面及び数量計算書 への表示		備 考
				単 位	数 位	ま る め	数 位	ま る め	
管 路 施 設 工 事	土 工	管路掘削		m ³	整数	小数位 以下切捨	小数位 以下 1位止	小数位 2位 四捨五入	
		発生土処理							
		管路埋戻							
	マンホール工	組立マンホ ール工		箇所	整数		整数		
		バート工							
		副管設置工							
		板石設置工							
	集水ます 設置工	集水ます		箇所	整数		整数		
		集水ますⅡ型							
		集水ますⅢ型							
		雨水ます							
		支管取付							
	管 布 設 工	硬質塩化 ビニル管		m	小数位 以下 2位止 〔5cm単位で それ未満切捨〕	小数位 3位 以下切捨	同	左	
		強化プラスチ ック複合管							
	管 保 護 工	管 保 護 工		m	同 上	同 上	同	上	
	取 付 管 布 設 工	取 付 管		m	小数位 以下 2位止 〔5cm単位で それ未満切捨〕	小数位 3位 以下切捨	同	左	
仮 設 工	木 矢 板 土 留		m	同 上	同 上	同	左		
	軽量鋼矢板 土 留								
管 更 生 工	自 立 管		m	同 上	同 上	同	左		
	複 合 管								

分類	工事区分 ・ 工 種	種 別 ・ 細 別	適 用	出来高明細書等への表示			図面及び数量計算書 への表示		備 考			
				単 位	数 位	ま る め	数 位	ま る め				
管 路 施 設 工 事	管きよ工 (推進) 仮設備工	支圧壁		箇 所	小 数 位 以 下 1 位 止	小 数 位 2 位 以 下 切 捨						
		クレーン設備 組立撤去										
		坑 口										
		鏡 切 り										
		推進用機器 据付撤去										
		掘進機発進 用受台										
		掘進機引上 台										
		中押し装置										
		立坑基礎					式	1				
		掘進機据付										
		掘進機据付										
	掘進機回転 据付											
	掘進機搬出											
	管きよ工 (シールド) 仮設備工	支圧壁		箇 所	小 数 位 以 下 1 位 止	小 数 位 2 位 以 下 切 捨						
		坑 口										
		立坑内 作業床										
		鏡 切 り										
		シールド機 発進用受台										
		シールド機 引上用受台										
		シールド機 後続台車搬出					式	1				
		シールド機 解体残置										
		シールド機 仮発進										
立坑基礎												
軌条設備												

分類	工事区分 ・ 工 種	種 別 ・ 細 別	適 用	出来高明細書等への表示			図面及び数量計算書への表示		備 考	
				単 位	数 位	まるめ	数 位	まるめ		
処理場・抽水所施設工事	土 工 事	土砂掘削		m ³	整数	小数位 3位 以下切捨	小数位 以下 1位止	小数位 2位 四捨五入		
		作業残土 処 理								
		発生土埋戻								
		流用土盛土								
	本体仮設工	鋼矢板 軽量鋼矢板 鋼管矢板		式	1					
	躯体工事	既製杭工		式	1					
		基礎材		m ³	同 上	同 上	同 上	同 上	同 上	
		均しコンクリート								
		コンクリート								
		型 枠		m ²	小数位 以下 1位止	小数位 以下 2位切捨	小数位 以下 2位止	小数位 以下 3位切捨		
		鉄 筋		t	小数位 以下 2位止	小数位 3位 以下切捨	小数位 以下 3位止	小数位 4位 四捨五入		
		支 保		空 m ³	小数位 以下 1位止	小数位 以下 2位切捨	小数位 以下 2位止	小数位 以下 3位切捨		
		足 場		掛 m ²	小数位 以下 1位止	小数位 以下 2位切捨	小数位 以下 2位止	小数位 以下 3位切捨		
	伸縮継手工	伸縮目地 充 填		m	小数位 以下 2位止 <small>(5cm単位でそ れ未満切捨)</small>	小数位 3位 以下切捨	同 左			
		可とう継手		箇所	整数		整数			
		スリップバー		組						